

異種混合カードバトル

勝利の探求者

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

いろんなカードゲーム（具体的にはタグで）同士で戦わせるだけ。ただ知識は乏しい、思いついたの書いていく。

目次

DM	ミラクルスターVSシャドバ	1
遊戯王	遊星デッキVS BS 天霊デッキ	5

DM ミラクルスター VS シヤドバ イーゼス

先攻、ミラクルスター

後攻、イーゼス

先攻2ターン目より

「僕は2マナで、《スタートダッシュ一撃奪取アクロアイト》を召喚。ターンエンド」

「俺のターン。俺は呪文、《竜の託宣》を発動。山札から1枚目をマナゾーンへ」

ミラクルスター

手札3 マナ2 シールド5 フィールド 《アクロアイト》

イーゼス

手札4 マナ3 シールド5 フィールド なし

「マナブーストか、でもそんなにのんびりしてたら僕が勝っちゃうよ。《アクロアイト》の能力で1マナ軽減し、《アクロアイト》を《聖球シルドアイト》に進化！ 効果でシールドを1枚増やし、そしてW・ブレイク！」

イーゼス シールド5↓3

「僕はターンエンド」

「俺のターン。《竜の託宣》でマナを増やし、さらにブロッカー《ベルエンジェル》を召喚。ターンエンドだ」

「またマナブーストか。ブロッカーで守りも固めて……でも無駄だ！

僕は《交錯の翼 アキュラ》を召喚。能力で《ベルエンジェル》をタップ、《シルドアイト》でW・ブレイク！」

イージス シールド3↓1

「盤面もシールドも僕の方が優勢、勝負あったね」

「さつきから無駄口が多いな、弱い犬ほど良く吠えるとはよく言ったものだ」

「なんだと！ 誰が弱いだつて？」

「シールド・トリガーS・T、《落とし穴》。相手のタップされているクリーチャー1体を破壊する」

「なっ!? だが《シルドアイト》を破壊したくらいでいい気になるなよ！ ターンエンドだ」

「俺のターン。呪文《竜の鬨気》 山札から1枚目をシールドへ、その後山札から1枚目ををマナゾーンへ、さらに1枚ドロ、ターンエンド」

イージス

手札5 マナ7 シールド2 フィールド《ベルエンジェル》

「クリーチャーを出さないとデュエルには勝てないぞ。僕のターン、《アキュラ》を《聖霊龍王 デイオフエンス》に進化、W・ブレイク！」

「《ベルエンジェル》でブロック。《ベルエンジェル》の能力、破壊されたとき1枚ドロ」

「ターンエンド、《ディオフェンス》は能力でアンタップ」

「俺のターン。《水竜神の巫女》を召喚、マナを1枚追加。さらに《スネークプリースト》を召喚し、ターンエンド。《巫女》の能力でシールドも追加だ」

「僕のターン、《ガガピカリヤン》召喚で1枚ドロ、《ディオフェンス》で攻撃」

「《スネークプリースト》でブロック」

「くっ、手札が切れて攻め切れない…ターンエンドで《ディオフェンス》をアンタップ」

「俺のターン、俺は10マナで切り札を呼び出す」

「10マナだって!?!」

「降臨せよ、触れられざる光輝、《ヘヴンリーイーゼス》!」

「このターンで一気に来るのか!?!」

「スピードアタッカーではない、ターンエンドだ」

「ふっ、そうか…なら僕の勝ちだ!!? 僕のターン、切り札《聖霊龍王 ミラクルスター》、《ガガピカリヤン》から進化だ!」

「《ミラクルスター》の能力で相手クリーチャー2体をタップ、次のターンアンタップされない! これでお前の切り札は動けない!」

「…:召喚するときにも言ったが、《ヘヴンリーイーゼス》は触れられざる光輝、カードの能力は一切受けない。よってタップされない」

「なんだと!? だが、《ディオフェンス》で残りシールドを全て破壊!」

《ミラクルスター》でトドメだ!」

「残念だったな、シールド・トリガーS・T 《テミスの審判》 フィールドのクリーチャーを全て破壊する!」

「なっ、僕のクリーチャーが…:」

「もちろん《ヘヴンリーイーゼス》は破壊されない。俺のターンだ。《レディアンスエンジェル》を召喚、山札からシールドを追加。さらに《しんりゅう護国真竜・スカーサハ》を召喚。《スカーサハ》は召喚された時マナゾーンにカードが7枚以上あれば、次のターン相手のクリーチャーがブレイクできるシールドの枚数を1でできる」

「守りが固すぎる、こんなのどうすれば」

「行くぞ、《ヘヴンリーイーゼス》 T・ブレイク!」

「くっ、シールド・トリガーS・T 《霊騎コルテオ》、能力で《スカーサハ》をタップ」

「ターンエンド、さあどうする?」

「ぐっ、マナをチャージ、《奇跡の球クルスタ》を召喚、ターンエンド」

「俺のターン。《レディアンスエンジェル》を召喚、前のターンに出した《レディアンスエンジェル》でシールドをブレイク」

「シールド・トリガーS・Tなし……………」

「シールド・トリガー続けて《スカーサハ》、W・ブレイク」

「シールド・トリガーS・T《聖歌の聖堂ゾディアック》、相手クリーチャー3体をタツプ！」

「《イージス》には効かない、ダイレクトアタックだ!!？」

「ぐあああ!!？」

勝者、イージス

遊戯王 遊星デッキ VS BS 天霊デッキ

先攻、遊星デッキ LP4000

後攻、天霊デッキ LP4000

「俺のターン、俺はモンスターを裏側守備表示で召喚、カードを2枚伏せてターンエンドだ」

「私のターン、手札から《天使グリモ》の効果を発動します。このカードを手札から墓地へ送ることでデッキから、永続魔法《バトルスピリッツ》を手札に加えます。そして発動、《バトルスピリッツ》！」

「永続魔法 バトルスピリッツ」

（このカードがフィールドに存在する限りこのカードのプレイヤーへの戦闘ダメージは0になる。自分のモンスターが攻撃対象になった時、その攻撃対象をプレイヤーに変更することができる。このカードを発動した時、このカードの上にライフカウンターを5つ置く（上限なし）。このカードのプレイヤーが直接攻撃を受けるたびこのカードのカウンターを1つ減らし、カウンターが0になった時このカードを破壊し自分はゲームに負ける。）

「さらに私は、魔法カード《デュアルサモン二重召喚》を発動、《オリンピアの天使ベートル》と《オリンピアの天使オク》を通常召喚。カードを1枚伏せ、ターンエンドです」

「オリンピアの天使ベートル」レベル4 天使族へATK1000／DEF1300

（自分の天使族モンスターが戦闘によって破壊された時、自分フィールド上《バトルスピリッツ》にライフカウンターを1つ乗せることができる）

「オリンピアの天使オク」レベル3 天使族へATK200／DEF500

(お互いのバトルフェイズ時、レベル1、4のモンスターは攻撃できない。自分の手札の天使族モンスターはレベルが1つ下がる)

「俺のターン、悪いが一気の決めさせてもらう！ 手札のモンスター 一体を墓地へ送り、手札から《クイック・シンクロン》を特殊召喚。そして墓地へ送った《レベル・ステイラー》の効果発動、《クイック・シンクロン》のレベルを1つ下げて、墓地から特殊召喚。 さらに、墓地からの特殊召喚に成功したので手札から、《ドッペル・ウォリアー》を特殊召喚。」

「特殊召喚だけで3体のモンスターを!?!」

「まだまだここからだ！ レベル1の《レベル・ステイラー》にレベル4の《クイック・シンクロン》をチューニング、《ジャンク・ウォリアー》をシンクロ召喚！ そして手札から《ジャンク・シンクロン》を通常召喚、効果で《レベル・ステイラー》を墓地から特殊召喚、加えて反転召喚、《マツハ・シンクロン》！」

「召喚が止まらない……………」

「レベル1の《レベル・ステイラー》にレベル1の《マツハ・シンクロン》をチューニング、《フォーミュラ・シンクロン》をシンクロ召喚、召喚時効果で1枚ドロ。そしてレベル2の《ドッペル・ウォリアー》にレベル3の《ジャンク・シンクロン》をチューニング、2体目の《ジャンク・ウォリアー》をシンクロ召喚！」

「《ドッペル・ウォリアー》がシンクロ素材に使われたから、《ドッペル・トークン》が召喚されて、《ジャンク・ウォリアー》の攻撃力が800ポイント増してる……………」

「このまま一斉攻撃したいところだが、まだ召喚は終わっていない!! ?」

2体の《ジャンク・ウォリアー》に《フォーミュラ・シンクロン》をチューニング！ 最強の切り札、《シューティング・クエーサー・ドラゴン》を召喚!!?」

「何、このドラゴン…」

「攻撃力4000の2回攻撃、まずは1度目、《ベトール》を攻撃！」

「バトルスピリッツの効果、攻撃対象を変更、ライフカウンターを1つ取り除く……そしてここでリバースカードオープン！ 罨トラップカード《夢幻祈祷》！ このカードは自分のライフカウンターが減った時のみ発動可能。ライフカウンター一つを《バトルスピリッツ》の上に乗せることができる。」

「2度目だ！ いけっ 《シユータイング・クエーサー・ドラゴン》」

「ライフカウンターで……」 ライフカウンター 「5↓4」

「ターン終了だ」

「では私のターン、《オリンピアの天使フル》を召喚。カードを一枚伏せてターンエンドです」

「オリンピアの天使フル」レベル3 天使族 へATK800/DEF1200

このカードが破壊された時、自分フィールド上の《バトルスピリッツ》にライフカウンターを一つ置く。

「《シユータイング・クエーサー・ドラゴン》がいる限りお前は攻撃もできない。じわじわとやられるのを待ただけだ。《シユータイングクエーサー》！ 二回攻撃!!?」

「両方ライフで受けます」 ライフカウンター 「4↓2」

「ターン終了」

「私のターン、《天使オリフィア》を召喚。カードを一枚伏せてターン終了です」

「俺のターン、ドロー！ そして……」

「バトルフェイズ開始と同時にリバースカードオープンです、《ウィツグバインド》！ 能力でこのターン、相手モンスターすべては攻撃宣言ができません」

「《シユーツィング・クエーサー・ドラゴン》の効果、ターンに一度相手の発動したカードを無効化し、破壊する！ さあ二回攻撃だ!!？」
「リバースカードオープン、《アルターミラーージュ》！ このターン私のモンスターは戦闘によって破壊された時、バトル終了後墓地から特殊召喚される」

「ちっ、ターン終了……」

「私のターン……ドロー!!」

「引けました！ まずは魔法、《デュアルサモン二重召喚》」

「《シユーツィング・クエーサー》の効果で無効化！」

「こちらは囷です。《オク》の効果でレベルが一つ下がっているので、リリースなしで本命の、《オリンピアの天使ファレグ》召喚！」

「オリンピアの天使ファレグ」 レベル5 天使族 へATK160
0/DEF1400」

このカードが召喚に成功した時、自分の天使族モンスターの数と同じだけ相手モンスターを選択する。選択されたモンスターはこのターン攻撃対象に選ばれない。（攻撃対象に選ばれるモンスターが存在しない場合、直接攻撃することができる）

「何!? すり抜ける気か！」

「さらに魔法カード、《セブンスヘブン》を発動！自分フィールド上に天使族モンスターが5体いる時、手札から天使族モンスター2体を相手に見せることで、《バトルスピリッツ》にライフカウンターを7個になるように置くことができる」

「バトル！ 天使族モンスターで一斉攻撃！」

「そんな……馬鹿な……」 「LP4000→0」